

第10回防災推進国民大会（ぼうさいにくたい2025 in 新潟）

	出展タイプ	テーマ(仮)	主催団体
1	セッション S-41	新潟が先導する「命を守る雪の防災」	日本雪工学会
2	ワークショップ W-16	在宅避難 普段の食事をローリングストックで	ローリングストック普及推進実行委員会
3	ブース展示 B-71	中越大震災から21年 中越メモリアル回廊の今	中越メモリアル回廊・中越防災安全推進機構
4	ブース展示 B-02	団体の概要と共助・CSRの防災活動の歴史	チーム中越
5	エクスカーション	防災関連施設見学バスツアー（地震・水害）	内閣府・中越防災安全推進機構

参加費
無料

情報技術を活用した
除雪支援

日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

雪かきのICT化と
その先の「雪かきDX」を考える。

除雪安全行動研究委員会は、雪による事故・犠牲者を軽減する手段と実態について研究することを目的としています。

雪国の安全・安心により具体的にコミットするため、住民が適切でかつ安全な除雪行動を日常から行うための啓発手法、防災教育としての展開の可能性、望ましい行動変容に至るプロセス等について実証的研究を行っています。

今回の研究委員会では、ICTを利用した積雪の可視化と除雪支援をテーマに、齋藤寛氏（会津大学コンピュータ理工学 教授）をお招きし、参加者の皆様と一緒に課題解決に向けた次の一手を突き出したいと考えております。興味・関心のある方々、ぜひお気軽にご参加ください。



自動除雪ロボット
齋藤ら（2023）

日時 9月4日（月）
15:00～17:00

会場 各種学生会場5
（70号館3F 7036）

プログラム

●話題提供（60分）
ICTを利用した積雪の可視化と除雪支援（仮）
齋藤 寛 氏
（会津大学コンピュータ理工学 教授）

●フリーディスカッション（45分）
【進行】 諸橋 和行
（除雪安全行動研究委員会 委員長／
公益社団法人 中越防災安全推進機構）

申込方法

本研究委員会は事前登録が必要です。
以下のURLにお名前・ご所属等をご記入ください。

<https://forms.gle/ZTm8Qr8gRwSeyDY9>



お問い合わせ先
小西信哉（当研究委員会幹事／（一社）北海道開発技術センター）
konishi@decent.or.jp

主催：日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

2023年

参加費
無料

雪害経験者が語る
真の雪害対策

日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

人身雪害発生傾向と
当事者が語る真の対策の在り方

除雪安全行動研究委員会は、雪による事故・犠牲者を軽減する手段と実態について研究することを目的としています。

これらの活動をさらに進化させ、雪国の安全・安心により具体的にコミットするため、住民が適切でかつ安全な除雪行動を日常から行うための啓発手法、防災教育としての展開の可能性、望ましい行動変容に至るプロセス等について実証的研究を行っています。

研究委員会当日は、山形県内で雪害事故に遭われた12名を対象にインタビューを行った二藤部久三氏（株式会社 克技術設計）及び調査結果をとりまとめた高橋和幸当研究委員会副委員長（弘前学院大学教授）から話題提供していただきます。また、雪害事故に遭われた方にもご参伺いただき、事故発生時の様子、防止対策のポイントや難しさなどをお話いただく予定です。

関心のある方々はぜひお気軽にご参加ください。

日時 9月17日（火）
15:00～17:00

会場 アオーレ長岡 アリーナ多目的室B
（新潟県長岡市大手通1丁目4番地10）
※オンラインによる参加も可（zoomURLは別途ご案内します）

プログラム

●調査結果報告（30分）
山形県内の雪害の傾向と雪害対策の特徴／
雪害重傷経験者の声から分析する住民が求めている
真の雪害事故防止対策とは何か
高橋 和幸副委員長（弘前学院大学教授）
二藤部 久三氏（株式会社 克技術設計）

●雪害経験者の語り（20分）
山形県在住の方（2～3名を予定・オンライン参加）

●フリーディスカッション（60分）
話題提供を受け、安全な除雪行動と雪害対策を
検討するフリーディスカッション
【司会】 諸橋 和行委員長
（公益社団法人 中越防災安全推進機構）

申込方法

本研究委員会は事前登録が必要です。以下のURLに
お名前・ご所属等をご記入いただけます。

<https://forms.gle/pwQhvGymP2gdLrrg9>



《事故当事者の語り（抜粋）》

▶ 堤場から雪下ろしを始めたが、早く終了し他の場所へ除雪ボタンティアに行く予定であった。気持ち的に余裕がなく、最後の雪下ろしを（1階屋根）するときに足を滑らせて地面へ転落した。

▶ 午前中の休憩後に作業開始するときに屋根から転落し雪山へ落ちた。

▶ 自宅は2階建て木造住家、永年雪下ろしを行ってきた。1階車庫は危険度が低いと思って「注意喚起」は心得ていたが、「まさか」という油断で事故を経験した。

お問い合わせ先
小西信哉（当研究委員会幹事／（一社）北海道開発技術センター）
konishi@decent.or.jp

主催：日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

2024年

参加費
無料

技術革新で創る
除雪安全のネクストステージ

日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

雪処理をめぐる
新技術の開発動向と今後の展開

除雪安全行動研究委員会は、雪による事故や犠牲者を減らすための実践的な手法を研究し、雪国に暮らす人々の安全・安心に貢献することを目的としています。住民が日常的に適切で安全な除雪行動をとるための啓発方法や、防災教育としての展開可能性、さらには望ましい行動変容を促すプロセスについて、実践を通して研究しています。

当日は、雪処理の担い手確保や安全対策の整備といった現代的な課題に取り組みプレイヤーの皆さまから、活動の紹介をいただく予定です。また、除雪安全に関する新たな技術の展望について、参加者の皆さまと意見を交わしたいと考えています。

関心のある方々は、どうぞお気軽にご参加ください。

日時 9月8日（月）
15:00～17:00

会場 三重大学 工学部棟13番教室（多目的室C）
（三重県津市真直町1577）
※zoomによるオンライン参加も可能です。

プログラム

●新技術に関する話題提供（60分）
屋根雪下ろし機の製品紹介（オンライン）
（フジコロボレーション㈱ 機械事業部 小林 佑介 氏）
VR技術の屋根雪下ろし事故軽減に向けた可能性
（株式会社 代表取締役 岸 敬介 氏）

●フリーディスカッション（60分）
話題提供を受け、安全な除雪行動と雪害対策を
検討するフリーディスカッション
【司会】 諸橋 和行委員長
（公益社団法人 中越防災安全推進機構）

申込方法

本研究委員会は事前登録が必要です。以下のURLに
お名前・ご所属等をご記入いただけます。

<https://forms.gle/wq4dFbFwGBlAUd07>



屋根雪下ろし機



VRゴーグル

お問い合わせ先
小西信哉（当研究委員会幹事／（一社）北海道開発技術センター）
konishi@decent.or.jp

主催：日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

2025年

セッション
No. S-41

2025
9月6日(土) 14:30~16:00
朱鷺メッセ1階展示控室①
主催：日本雪工学会

命を守る雪の防災



雪国でない人たちにこそ知ってほしい

全国から大勢の方が集まる「防災推進国民大会(ぼうせいこくたい)」2025年は、**雪国・新潟**で開催されます。この絶好の機会に、雪国でない人たちにこそ命を守る雪の**防災**を知ってほしい。その強い思いから本セッションを企画しました。雪による犠牲者の実情と対策の変遷を解説するとともに、**安全な雪下ろし**やAI雪害事故予測、自動除雪機といった新潟の多様な取り組みをパネルトーク形式で紹介します。

連携
共催

申込

こちらのURLから
<https://ws.formzu.net/fgen/5911257547/>



● 特定非営利活動法人 中越防災フロンティア

What's YUBO? YUBOは有償除雪ボランティアのマッチング及び派遣システムです。ボランティアの皆さんと一緒に、山古志をはじめとする道産地域でずっと暮らしていきたいと考える住民を支えています。

ブース展示
No. B-009

9/6(土) 10:30~18:00 9/(日) 10:30~16:00

● 新潟県克雪住宅普及促進協議会

(事務局：新潟県土木部都市局建築住宅課)

What's アンカー? 屋根雪を人力で下ろす必要のない「克雪住宅」や、アンカー? 命綱を住宅の屋根等に結ぶための設備「命綱固定アンカー」について、助成制度の周知などにより普及を図るとともに、屋根雪除雪の事故防止に係る啓発活動を行っています。

出展展示
No. O-17

9/6(土) 10:30~18:00 9/(日) 10:30~16:00

みんなでローリングストックによる 家庭備蓄を普及させませんか？

ローリングストック 「おすすめ一品」「おすすめパッケージ」を発信！

災害発生直後は公的支援がすぐに届かない可能性がある上、物流の混乱により店頭での物資の購入も困難であることから、各家庭で食料などを備蓄しておくことが大切です。しかしながら、実際には家庭備蓄は進んでおらず、どのようなものを家庭に備蓄しておいたら良いかの理解も進んでいないのが現実です。そこで、普段使っているものをちょっと多めに買って置き、使ったら買い足すローリングストックによる家庭備蓄を普及させるために、みなさんからローリングストックに関する「おすすめ一品」もしくは「おすすめのパッケージ（1食や1日分などの組み合わせ）」をSNSで発信いただくことで、ローリングストックによる家庭備蓄の普及を図ります！



写真とおすすめの理由を
Facebook、X (旧Twitter)
Instagramに、
#ローリングストック新潟
をつけて投稿！

あなたのローリングストックの「おすすめ一品」もしくは「おすすめのパッケージ（1食や1日分などの組み合わせ）」の写真に説明をつけてSNSに#ローリングストック新潟をつけて投稿してください！

期間 全体 2023.10.13 (金) ~2024. 3.31 (日)
第1弾 2023.10.13 (金) ~10.29 (日)
第2弾 2024. 3. 1 (金) ~ 3.17 (日)

【問合せ・連絡先】
（公社）中越防災安全推進機構 河内
TEL 0258-39-5525
E-mail t-kawauchi@cosss.jp



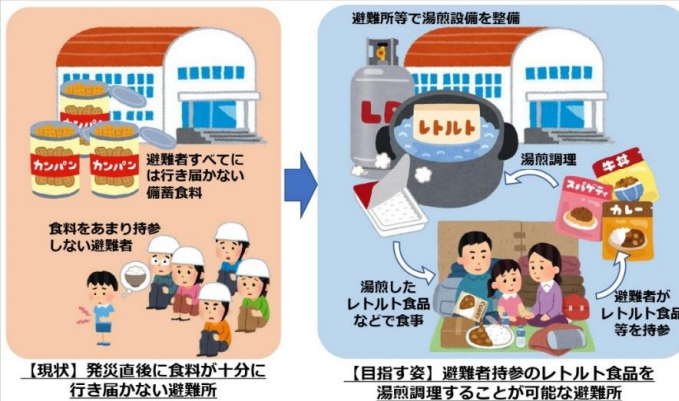
避難所・湯煎プロジェクト賛同団体募集

避難所等でバックご飯やレトルト食品等を温められる環境づくりを促進します

災害時に避難所に避難しても、十分な食料が備蓄されているとは限らないため、避難者には食料を避難所に持参することが推奨されています。また、避難所では、発災当初は常温の食料配布が続くことが多く、被害状況によっては、被災者に暖かい食事を提供すること自体が難しい場合もあります。そこで、本プロジェクトでは、避難所における湯煎設備の整備と、避難者が家庭備蓄しているバックご飯やレトルト食品等を避難所に持参することを促すことで、避難所でもすぐに暖かい食事が食べられる環境づくりを目指します。

実施により期待される効果

- ・ 発災直後の避難所における食料事情の改善
- ・ 住民の行政備蓄への依存度の低減
- ・ 家庭備蓄食品の避難所での活用可能性の拡大（非常持出袋にレトルト食品）
⇒家庭備蓄やローリングストックの更なる普及促進へ
- ・ 災害時に食料として支援可能な品目の拡大（レトルト食品、バックご飯等）



賛同いただける自治体・企業等をお願いしたいこと

- | | |
|---|--|
| <p>自治体、自主防災組織など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所での湯煎可能な環境整備 ・ 防災訓練などでの湯煎訓練の実施 ・ 住民に対する普及啓発、など | <p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体等での訓練における食材等の提供（有償or無償） ・ ローリングストックの啓発、など |
|---|--|

※上記以外にも普及のための良いアイデア等がありましたらぜひご連絡ください。

賛同団体登録

賛同いただける企業・自治体等の皆様は以下のURLもしくは右記のQRコードよりご登録ください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S87981337/>

【呼び掛団体】中越防災安全推進機構 地域防災力センター（担当：河内）
問合せ：TEL0258-39-5525 e-mail t-kawauchi@cosss.jp

ローリングストックをライフスタイルに！ チャレンジ オンライン説明会



“もしも”に強い暮らし、いっしょに始めてみませんか？

「もしも」に備えるって、こんなにカンタン！
いつもの食材をちょっと多めに。
ムダなく・おいしく備える「ローリングストック」。
オンライン説明会で、始め方&事例をチェック！
家庭や地域でできる「チャレンジ」、今こそ始めませんか？

日時：令和7年5月21日16:00～
会場：オンライン（Zoom）

申込み；以下のURLもしくは右記QRよりお申込みください。
<https://ws.formzu.net/dist/S776932991/>



～ローリングストックをライフスタイルに！チャレンジ概要～

以下のA～Dの取組みと一緒に実施してくれる学校や地域、団体、家庭、個人を募集します。

- A. ローリングストック動画鑑賞会**
ローリングストックの必要性や方法を学ぶため、動画を視聴する機会を設けましょう。ご家庭での団らん、地域での集まり、学校の授業など、様々な場面でご利用ください。（所要時間：20分程度）
- B. ポリ袋調理講座（家庭・地域・学校）**
災害時に役立つバックアップの知識とスキルを習得するため、講座を開催しましょう。学校や地域など、様々な場所で実施いただけます。（所要時間：45分～90分程度）
- C. 3日～1週間分のローリングストックレシピづくり**
災害時にご家庭で実際に作って食べられる、3日～1週間分のローリングストックレシピを考えてみましょう。（所要時間：15分～30分程度）
- D. 実食訓練**
ローリングストックしている食品を、災害時に近い環境で実際に食事として実際に食べてみましょう。（所要時間：15分～60分程度）



同時開催：オンライン ポリ袋調理講座 16:30～

説明会のあとに、ポリ袋調理を実際に体験！
初めての方も、もう一度学びたい方もぜひご参加ください。
※申込は説明会と同じURLから。事前に材料をご案内しますので、ぜひ一緒に作ってみましょう！

問合せ/連絡先
ローリングストックをライフスタイルに！チャレンジ実行委員会 事務局
（公社）中越防災安全推進機構 地域防災力センター 担当：河内
E-mail t-kawauchi@cosss.jp TEL 0258-39-5525

◆ 新潟県中越大地震から20年、4つのメモリアル施設と3つのメモリアルパークで構成される中越メモリアル回廊がこれまで伝えてきたものは、これらも中越メモリアル回廊の世代に、継り継いでいきます。

長岡メモリアルパーク **はじまりの公園**
震災とは地震の震源地の地帯地帯のこと。震災発生から1年後に作られた「長岡/豊後池田ハイキング」でこの地が記憶されました。この地を歩くと、伝えていくために「はじまりの公園」と名付け、遊歩道や展望台を整備しました。公園の周辺にはトレッキングコースも整備され、四季の自然を楽しみながら歩遊することもできます。なお、公園はすべて無料です。地震さんのご遺体により整備させてもらいました。マナーを守ってご利用ください。
所在地：新潟県長岡市北區遊歩道 長岡川辺より車で約15分
0258-89-7480 (宮 12:00)

妙見メモリアルパーク **祈りの公園**
親子3人が罹った家が大量倒壊に巻き込まれ、当時2歳の子が92名中半数に当たる16名で、中越メモリアルの発祥の地です。救助現場をそのまま残し、メモリアルパークが築かれた震災現場となり、訪れる多くの方々の記憶が甦ります。
所在地：新潟県小千谷市浦町地内
JR小千谷駅より車で約5分
0258-39-5525 (きおくみらい)

水籠メモリアルパーク **記憶の公園**
土砂崩れにより湧き出せなくなった水が、無事ここへ湧き出しました。水が流れてしまった家屋を復元し、当時の様子を感じています。隣接地には交流施設「あたらる」が地域の人のよって運営され、地元特産品の販売や震災資料も併設されています。
所在地：新潟県山田花輪地内
やまこし復興交流館から車で約10分
0258-41-1203 (あたらる)



中越メモリアル回廊全体図



●各施設間の移動時間のご案内



新潟県中越大地震20周年 中越メモリアル回廊 The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

長岡市・小千谷市・公益社団法人 中越防災安全推進機構
事務局：公益社団法人 中越防災安全推進機構
〒940-0062 新潟県長岡市大手道2-6 フェニックス大手イースト2階 きおくみらい
TEL: 0258-39-5525 FAX: 0258-39-5526 Mail: Kiokumira@ccass.jp



2004.10.23 新潟県中越大震災



中越メモリアル回廊

The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

新潟県中越大震災のメモリアル拠点である4施設、3公園を結ぶ中越メモリアル回廊。各施設では震災の記憶と記録を伝えるとともに防災意識向上のきっかけとなるよう工夫を凝らした研修プログラムを開発し、多くの方々に体験していただけるよう準備しています。中越メモリアル回廊では地域の防災を担うみなさまへ、次世代を担う子どもたちへ、そして未来へ、さまざまな防災・減災情報を発信し続けています。



新潟県防災アーカイブセンター
きおくみらい



おみやげ館
メモリアルパーク
きおくみらい



川口きずな館



やまこし復興交流館
あたらる



中越メモリアル回廊

支援への恩返し of 想いから生まれた

チーム中越

中越地震の支援活動の教訓から生まれた

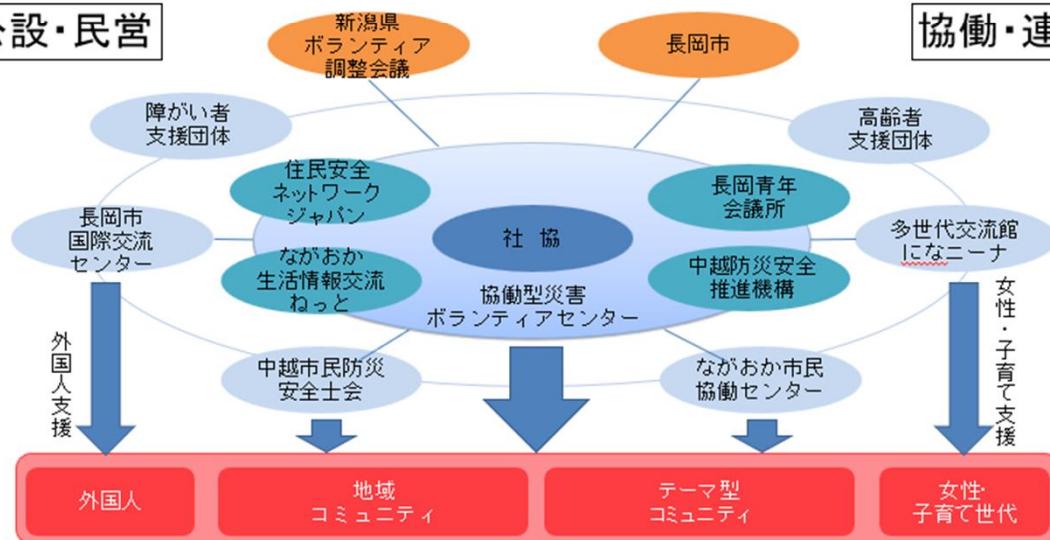
長岡協働型災害ボランティアセンター

7.13水害、中越地震の際には、長岡市内の様々な団体が支援活動を行いました。が、団体間の連携が図れていなかったために、支援の重複や漏れが生まれました。

この教訓を基に、長岡市内で災害が発生した際に関係機関が連携してスムーズな支援活動が行えるよう、平時ならびに災害時における各機関の役割を明確にし、相互に補完できる関係性の構築をめざしたのが「長岡協働型災害ボランティアセンター」です。

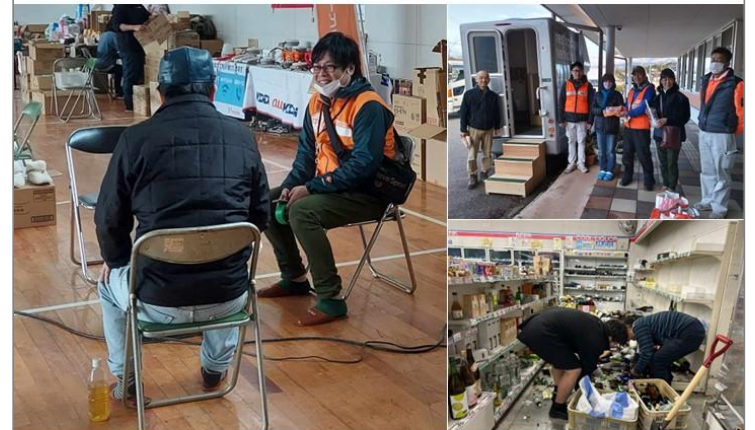
公設・民営

協働・連携



令和6年能登半島地震被災地支援 支援募金にご協力ください

チーム中越では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援するために、輪島市や穴水町を中心に、避難所の運営支援や物資支援、トイレカーの設置支援など、被災者の皆さんに寄り添った支援活動を展開しています。
被災地の復興にはまだまだ時間を要することから、チーム中越が培ってきた知見を活かしつつ、これからも中長期での被災地支援活動を行っていく予定です。
被災地支援活動を行うための支援金への募金のご協力をよろしくお願いいたします。



いただいた募金につきましては被災地の復旧、復興活動支援に使用させていただきます。募金の使途に関してはFacebookページにてご報告いたします。
【チーム中越Facebookページ <https://www.facebook.com/team.chuetsu>】

募金口座への振り込み

以下の口座にて募金を受け付けています。
チーム中越(チームチュウエツ)
【銀行名】ゆうちょ銀行【店名】一ニ八
【店番】128【預金種目】普通預金
【口座番号】2790036

寄付用サイトからの募金

クレジット決済、コンビニ決済、
銀行振り込みに対応しています。
募金サイトURL
<https://team-chuetsu.stores.jp>
QRコードから募金サイトにアクセスできます。



【問合せ】チーム中越 事務局 担当:野村・河内
(公益社団法人 中越防災安全推進機構)
〒940-0062 長岡市大手通2-6フェニックス大手イースト2F
TEL 0258-39-5525 FAX0258-39-5526
E-mail team.chuetsu1023@gmail.com



主催：内閣府・中越防災安全推進機構 協力：Love River Net

新潟の防災関連施設見学バスツアー

プラン1:  中越メモリアル回廊を巡る
The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

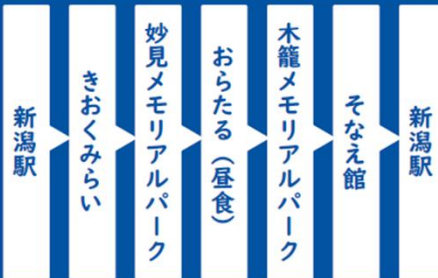
中越地震復興コース

9/5
金
開催

2004年10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源とする新潟県中越大地震が発生。あれから20年。あのときの記憶と記録を伝えるために整備された「中越メモリアル回廊」

ぼうさいこくたい2025の参加者のために、中越メモリアル回廊を巡る特別なバスツアーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

予定コース「新潟駅発着」8:30-17:00



参加費おひとり 2,000円
(資料代・昼食代)
定員・先着 35名
お申込みはQRコードから！

締切：8月25日（月）

<https://sites.google.com/view/bousaikokutai2025-excursion/>

↑くわしくはツアー専用Webサイトもご覧ください！
問合せ：0258-39-5525（中越防災安全推進機構）
メール：kiokumirai@cosss.jp



主催：内閣府・中越防災安全推進機構 協力：Love River Net

新潟の防災関連施設見学バスツアー

プラン2：新潟県中越地域の治水の歴史と記憶を巡る

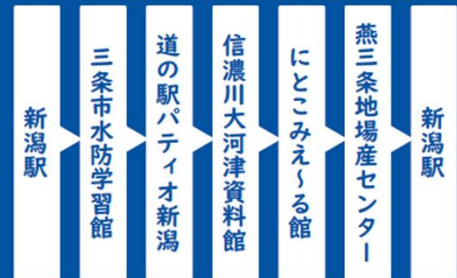
水害治水コース

9/5
金
開催

米どころ新潟に代表される越後平野の歴史は大河信濃川に代表される河川の洪水と治水の物語でした。

ぼうさいこくたい2025の参加者のために、水害の歴史を現代に伝える各施設を巡る特別なバスツアーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

予定コース「新潟駅発着」8:30-17:00



参加費おひとり 2,000円
(資料代・昼食代)
定員・先着 35名
お申込みはQRコードから！

締切：8月25日（月）

<https://sites.google.com/view/bousaikokutai2025-excursion/>

↑くわしくはツアー専用Webサイトもご覧ください！
問合せ：0258-39-5525（中越防災安全推進機構）
メール：kiokumirai@cosss.jp



関連するプログラム

	出展タイプ	テーマ(申込時)	主催団体
1	セッション	ハイレベルセッション	内閣府
2	セッション	中越地震から復興した新潟県が次世代へ伝えたい教訓	新潟県
3	セッション	災害時の建物調査・罹災証明書発行のための 応援・受援の枠組み	チームにいがた
4	セッション	新潟の地震、分かっていること、わからないこと	日本地震学会
5	ワークショップ	防災ワクチン®「一枚の写真」ワークショップ	長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター
6	ワークショップ	つなぐ - 神戸、新潟、仙台、熊本 伝えてきたこと、そして次へ -	全国クロスロードネットワーク会議（新潟会議）
7	ブース展示	中越大震災被災地の地域存続に向けた取組	NPO法人中越防災フロンティア
8	ブース展示	地域防災力向上への取り組み	中越市民防災安全士会、長岡市危機管理防災本部
9	ブース展示	震災の記憶と経験の継承・防災学習施設の取組	小千谷市産業開発センター・おぢや震災ミュージアムそなえ館
10	屋外展示	屋根雪の除雪作業中の事故防止	新潟県克雪住宅普及促進協議会